

安藝遠江ニ産ス、讃岐金毘羅山ニ産スルモノ、幹ノ大サ徑尺ニ近シ、

〔重修本草綱目啓蒙〕^{十五}蔓草、釣藤、カギカヅラ、カラスノカギヅル、フチトリバリ、三才、カキノ

ツル、藝州、タケカヅラ、熊野、フチツリバリ、サンチンカヅラ、サチカヅラ、味同上、南五

サルトリグイ、防州、一名鈎藤、^{本經}釣鈎藤、^{醫學}正傳、天弔藤、^{丹溪}纂要

今通名ナリ、花戸ニテチャウトウカウト云ハ誤ナリ、城州、和州、藝州、長州、防州、讃州、紀州、遠州、其餘

諸州山中ニアリ、藥舗ニ賣ル者ハ多ハ、藝州ノ産也、年久キ者ハ藤蔓甚大ニシテ、木ノ如クナル、其

蔓嫩ナル時ハ方莖ノ如ク見ユ、年ヲ經ル者ハ圓ナリ、葉形長ク尖リ、臘梅葉ニ似テ、澀ラズ、光リア

リ、嫩葉ハ微紅色皆兩對ス、葉ノ微シ上ノ方ニ對シテ兩鈎ヲ生ズ、其次ノ節ニハ單鈎ヲ生ズ、又其

次ニハ兩鈎ヲ生ズ、梢ニ至ルマデ皆此ノ如シ、其鈎皆下ニ曲リ、綠色、秋ニ至リ灰色ニ變ジ、自ラ落

ツ、藥ニハ嫩鈎ヲ用ユベキコト、本草匯ニ見ユ、選紫色去梗、純用嫩鈎、其功十倍ト云リ、此蔓ノ末ニ

五寸許ノ枝ヲ出シ、小又ヲ對生シ、小花簇リテ正圓毬ヲナス、黃褐色、大サ六七分、花謝シテ小毬殘

ル、形チ楊梅ノ如シ、

〔草木育種後編〕^{下品}鈎藤、^{本草}房州清澄山に産す、盆に栽たるは土藏に入れべし、糞水を澆ぎ夏月

莖を扨して活す、又根より芽を生ずるを根を切り置きて、芽長じ勢よき時分け栽べし、暖國にて

は無用の地に栽る、莖をとり藥とすべし、

〔採藥使記〕^{紀州}重康曰、紀州熊野山中ニ鈎藤アリ、其葉形チ櫻ノ葉ノ如クニシテ長ク廣シ、蔓生ス、

刺アリテ鈎ノ形ノ如シ、

光生按ズルニ、此物所々ニアリ、豐州中津ニ出ルヲ上品トス、藝州廣島ノ産ハ次ナリ、俚俗藤ツ

リバリト云フ、

〔新撰字鏡〕木、桔梗、^{上居頰反、下柯杏反、加}、^{阿佐加保、又}、^{良久波、又云阿佐加保、}、^{云阿止々支}、

桔梗